

令和元（平成31）年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	17
部	子ども健康部	課	子ども支援課

1. 指定概要

施設概要	名称	北里こどもの家		建設年	平成26年（大規模修繕 年）		
	所在地	近江八幡市江頭町1014		利用対象	全市 地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	延床面積147㎡、階数 地上1階					
	指定管理開始年度	平成26年					
指定管理者	名称	北里スマイリークラブ					
	所在地	近江八幡市江頭町1014					
指定管理業務の内容	①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務						
指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日（5年間）						
指定管理料	平成29年度： ー 千円	平成30年度： ー 千円	令和元年（平31）年度： ー 千円	令和2年度： ー 千円（見込）			
利用料金制	採用している		選定方式	公募	応募者数	1者	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和元(平成31)年度実績	担当課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	① 施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	① 施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、指導員が随時実施 ・ 保護者会の奉仕作業の実施	(よかったと評価できる事項) ・ 児童の安全確保に努め、特に衛生面の管理において適切に施設の維持管理を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(サービスの運営業務) (施設の運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 保護者会の開催、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収。 平成31年度収入 4,970千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 特になし。	(よかったと評価できる事項) 特になし
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) (自主事業) (その他の業務)	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用状況 利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日数：年間256日 ・延べ利用者数：7,812名 ・平均登録児童数：43名 	(よかったと評価できる事項) 特になし
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	平成30年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	■収入 (10,469千円) 保育料等 4,970千円 業務委託料 5,499千円 ■支出 (10,585千円) 人件費 7,808千円 管理運営費 2,776千円	■収入 (12,263千円) 保育料等 4,970千円 業務委託料 7,293千円 ■支出 (12,504千円) 人件費 10,654千円 管理運営費 1,850千円	(よかったと評価できる事項) 特になし
			(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	毎日のお迎え時に話を聞き、保護者会(年3回程度開催)で意見を聞いて迅速に対応した。その他、随時相談を受け付けている。
評価頂いている内容	それぞれの子どもと保護者の話をよく聞いて親身になって考えている。
苦情・意見等	相談等はあったが、苦情はなかった。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

年々人数が増えている。令和2年度から運営者が変わり子どもの人数はますます増えるだろう。安全を確保するために対策を考えるべきだ。

6. 指定管理者の自己評価コメント

建物は5年半使用しているが、綺麗に使用できていると思う。

7. 所属の総括コメント

新型コロナウイルス感染症に伴う小学校の臨時休校時には、午前中からの開所等、最大限の保育体制を整えていただいた。
施設の管理ならびに児童の安全確保等適正な運営が行われたと評価している。
利用者は徐々に増加していることから、施設が手狭になっているが、児童数の増加に対応する支援員の確保等、体制整備により、引き続き、安全な保育の実施に取り組んでいただきたい。